

教材4-A-(5)の解答

度数分布表

①『相対度数』の解決のために

○ 相対度数とは、

「その階級の度数の、資料全体の個数（各階級の度数の合計）に対する割合」であるから、

$$\text{（相対度数）} = \frac{\boxed{\text{その階級の度数}}}{\boxed{\text{度数の合計}}} \text{ で求められる。}$$

右上の表でハンドボールを20m以上25m未満の階級で、この階級の度数は

16 人です。

よって、

$$\text{相対度数は } \frac{16}{40} = \boxed{0.4} \text{ となる。}$$

○ 相対度数は、全体の個数が異なるいくつかの資料を比べるときに、大変便利である。

【表】B中学校のハンドボール投げの記録

階級(m)	度数(人)	相対度数
以上 未満		
0～5	0	
5～10	2	
10～15	3	
15～20	9	
20～25	16	a
25～30	8	
30～35	1	
35～40	1	
合計	40	1.00

たしかめよう

右上の【表】B中学校のハンドボール投げの記録について、次の記録の生徒が入る階級の相対度数を求めなさい。

(1) 27m

25m以上30m未満の階級に入るのでその度数は8
よって $8 \div 40 = 0.2$

0.2

(2) 34m

30m以上35m未満の階級に入るのでその度数は1
よって $1 \div 40 = 0.025$

0.025

「以上、未満」に注意して、どの階級に入るかを確認しましょう。

(3) 15m

15m以上20m未満の階級に入るのでその度数は9
よって $9 \div 40 = 0.225$

0.225